



篠小だより

～学ぶ つながる 篠原の子～

令和5年6月30日

7月号

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目2 7 番1号 TEL045-401-9532 fax045-431-9538

待つことって難しいけれど

校長 松久保 伸子

みなさんは、美容室や理容室で髪を切ってもらってる間に、施術をしてくれる方と話をする派ですか？話をしない派ですか？ 私は、まったく話をしない派です。上手に世間話をしている方を羨ましいな、と思う気持ちもあるのですが、一生懸命に髪の毛を切ってくれている美容師さんの華麗な手さばきを、こっそりとのぞくのがとても楽しみでもあるのです。もう少しかっこよく言い直しますと、集中している仕事師の姿を見るのが、すごく好きなのです。私のおしゃべりごときで乱れる手元ではないと分かりつつも、集中しているところを雑誌を読みつつ観察し、いつも感心しています。

学校で生活している子ども達にも、ときに驚くほど集中する瞬間があります。一心不乱に彫刻刀で板を彫り進めているとき、タブレットで作品を仕上げているとき、作文を書き進める手が止まらないとき、跳び箱に向かって助走のタイミングをはかっているときなどなど、様々なシーンで集中しているときの姿は素晴らしく、私の好きな仕事師の姿に重なる部分でもあります。いつまでも観察していたいな、と思うのですが、ここで私の教師としての悪い癖が出てしまうのです。この集中を破って声をかけてしまうのです。美容室ではひたすら観察に徹することができるのに、学校にいと、つい、さらなる成長を目指して声をかけてしまう。アドバイスと言えば聞こえは良いですが、集中している子どもから見れば「せっかく調子よくやっていたのに。」と思うこともあるでしょう。中には「今からやろうとしていたことを言われてしまった。やる気がなくなった。」と感じる子どももいます。40人近くの学級の子も達を受け持ち、決められた学習を1年間のうちにやり切らなければいけない指導者としては、声をかけたくなくなってしまうものですが、「待つ」ことができる環境にあるときには、声をかけるタイミングを誤らないようにしていきたい、まだまだ修行が足りないと思う日々です。

失敗もたくさんしてきましたが、成功したこともあります。絶対ではありませんが、声かけのタイミングで成功しやすい「とき」があります。小さい子なら「出来た。」と声を出した瞬間。大きい子なら「フー。」と息をついたとき。集中が終わったタイミングを見逃さず声をかけることができれば、子どもが頑張っていたことをほめ、効果的によりよい方法を伝えることができます。またこのことは、行為を変えてほしいときにも威力を発揮します。次の学習の用意がなかなかできない子どもが、遅れてしまったけれども机の上に教科書ノートを出した瞬間に「それです。それが素晴らしいんですよ。」と賞賛する。何度も注意するより効果が高いです。望ましい行為ができた瞬間まで「待つ」。そして賞賛することができれば、注意は減らすことができる、成功例の一つです。

あと3週間で夏休みです。子ども達が家庭で生活する時間が増えます。家事や仕事、看護や介護、ご家庭にもやらなければいけないことがたくさんあります。学校と同じで、いつでも待っていることはできないと思います。けれども、もし、「待つ」ことが可能な時間が取れたときには、ぜひ子ども達が集中している間待ってあげていただければ嬉しいです。例年夏休みを経た子ども達は、心も体も一回り大きくなって学校に戻ってきます。きっと賞賛される経験をたくさん積んできているのでしょう。ぜひ今年もそのようにあってほしいと願っています。

職員が増えて授業の準備をするスペースが足りなくなったので、職員室の拡張工事を夏休み中に行うことになりました。廊下側に壁が30センチほど移動します。夏休み中は工事車両が入り、職員室への来室は遠回りをするることになります。休み明けの8月28日(月)には、きれいになった廊下で子ども達を迎えることができそうです。

